

## インターユース堺 第16期団員を募集します

インターユース堺（IYS）では、今年度の活動に参加する第16期団員を募集します。

インターユース堺（IYS）は、「参加・開発・平和・人権」をテーマに、青年に社会参加の場を設け、活動を通し交流や連携を図る中で、平和や人権が尊重される社会の実現に貢献できる人権意識と国際感覚を身につけた青年の育成を目的として1985年（前身であるIYYからを含みます）から活動しています。

1. 活動予定期間 令和6年7月4日（木）～11月14日（木）
2. 活動内容 各種の人権問題から国際的な課題について学び、また、身近な海外である韓国・朝鮮の文化に触れるためのフィールドワークをはじめ、日本語学校生との交流や、外国にルーツのある子ども達とのイベントの企画・運営を行います。
3. 募集人数 12人
4. 参加費 3,000円（IYS年会費として）
5. 応募資格 堺市内に在住の満15歳から35歳までの方（令和6年4月1日時点）。ただし、中学生は除きます。
6. 申込期間 令和6年5月1日（水）～5月31日（金）（必着）
7. 後援 堺市、堺市教育委員会
8. その他 応募方法等の詳細は別添の「募集要項」をご参照ください。

問い合わせ先	担当：インターユース堺事務局（堺市市民人権局 ダイバーシティ推進部 人権推進課内） 電話：072-221-9280 ファックス：072-228-8070
--------	--



# 経験は宝だ!!

## インターユース堺 第16期団員募集

募集開始5月1日(水)～5月31日(金)

年間研修  
スケジュール

2024年

7月4日(木)→11月14日(木)

参加負担金

3,000円 (スタディツアー費用・研修費を含む)

### ★インターユース堺16期団員の主な活動内容★

YMCA日本語学校生(留学生等)と、外国にルーツのある子どもたち等を対象としたイベントの企画・運営などの活動を行う。海外で働いた経験のある方にご講演いただいたり、様々な人権問題について学んだり、考えたりする。

LINE

「インターユース堺(IYS)」LINEアカウントの  
お友達登録をお願いします!

募集を開始しましたら、募集要項をLINEアカウントにて、通知いたします。



お友達  
登録は  
こちらから!



# YMCA日本語 学校生との交流

- YMCA日本語学校生とチームビルドゲームなどを通じて意思疎通を図り、互いの国の伝統や文化について話し合う活動を行います。異文化交流することによって、違いを相互に理解し合い、ともに生きるために必要なことを学びます。
- 日本語学校生と共同で、堺市に住む外国にルーツのある子どもたちが楽しめるイベントを自分たちで企画し、実施します。また、その後堺市の区民まつり等でのパネル展示や、報告集の作成を行い、活動で学んだことをアウトプットします。

## YMCAとは？

YMCAは世界120の国と地域で、およそ6500万人の会員を有するNGO(非営利組織)です。  
日本国内では「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンに、地域や人々のニーズに合わせたプログラムを提供しています。日本YMCA同盟は、全国の都市YMCAおよび学生YMCAの加盟により組織され、国内および海外のYMCAとの連絡調整を主として活動しています。



## IYSで学んだ 先輩団員の声

インタビュー堺第6期生

狭間さん

インタビュー堺第6期メンバーであり、卒団後、JICA海外協力隊としてご活躍された狭間さん。ご自身の経験をふまえ、JICAでの活動について、また、国際関係の仕事に就く上での課題や困難をどのようにして乗り越えてこられたのかなど、ご講演いただきます。



2024年8月25日(日) 研修開始 10:00~

- 日本語学校生と親交を深める
- 伝統や文化について交流する

10:00	見学	平和と人権資料館見学
11:00	交流	チームビルドゲーム
12:30	交流	昼食交流会
13:30	交流	伝統や文化の交流
16:30	研修のまとめと振り返り・事務連絡	

2024年9月1日(日) 研修開始 13:00~

- 外国にルーツのある子どもたちが楽しめるイベントを企画する

13:00	説明	本事業の目的と子どもたちの実態について
13:15	グループワーク	イベント企画案の作成
16:00	発表	イベント企画案の全体交流
16:45	研修のまとめと振り返り・事務連絡	

2024年9月8日(日) 研修開始 13:00~

- 外国にルーツのある子どもたちが楽しめるイベントの準備をする

13:00	グループワーク	イベント企画案の修正
14:30	作業	イベントで使用する物品等の準備
16:00	発表	イベントの実施
16:45	研修のまとめと振り返り・事務連絡	

2024年9月15日(日) 研修開始 10:00~

- 外国にルーツのある子どもたちが楽しめるイベントを実施する

10:00	準備	イベントの準備
11:00	実施	イベントの実施
14:00	終了	後片付け
14:45	研修のまとめと振り返り・事務連絡	



# もっと知ろう! 韓国・朝鮮

## コリアタウン スタディツアー



コリアタウンを訪れ、  
フィールドワークや  
韓国・朝鮮の伝統・文化に  
触れてみよう!



2024年8月4日(日) 研修開始 10:00~

ハンゲル文字講座や民族楽器体験など!  
たくさん韓国・朝鮮の伝統や文化を体験しよう!

10:00	フィールドワーク	コリアタウン 街歩き
11:30	講演	コリアタウンについて
14:30	体験	ハンゲル講座体験
15:10	体験	民族楽器体験
15:50	体験	伝統遊び体験
16:30	研修のまとめと振り返り・事務連絡	



### 講演内容 国際関係の仕事について

・講師略歴 大阪府堺市出身

2010年 IYS6期として活動

2014年 立命館大学大学院国際関係研究科入学

2015年~2017年 青年海外協力隊(現JICA海外協力隊)としてグアテマラ共和国で環境教育分野で活動

2018年 立命館大学大学院国際関係研究科卒業

2019年 公益財団法人太平洋人材交流センター(PREX)入局 現在に至る

2024年7月26日(金) 研修開始 19:00~

●国際関係団体の活動について知り、  
人権意識を高める

19:00	講義	国際関係団体について
20:30	研修のまとめと振り返り・事務連絡	

# 申込方法及び団員の決定について

(申込者の中から選考を経て団員を決定します。)

## <本事業の目的>

「インターユース堺」の事業目的は、各種事業を展開することで、青年に社会参加の場を設け、活動を通し、交流や連携を図る中で、平和や人権が尊重される社会の実現に貢献できる人権意識と国際感覚を身につけた青年の育成である。

## 1 応募資格

- ①堺市内在住で、2024年4月1日現在満15歳から35歳までの者。\*ただし、中学生は除く。
- ②IYS第16期団員として、7月から11月の研修及びIYSの実施する事業に参加する意思のある者。

## 2 申込期間

2024年5月1日(水)～5月31日(金) ※必着

## 3 申込方法

- ①持ち込み・・・午前9時から午後5時15分(土・日・祝日を除く)までの間
- ②郵送
- ③メール のいずれか

## 4 申込先

インターユース堺 事務局  
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 堺市役所 人権推進課内 \*堺市役所 高層館 6階南側  
TEL:072-221-9280 FAX:072-228-8070 メール:iys\_sakai@yahoo.co.jp

## 5 応募書類 <書類は、本事業にのみ使用いたします。また、書類の返却はいたしません。>

- ①参加申込書(コピー可。記載もれ、写真添付忘れに注意してください。)
- ②小論文(「インターユース堺の学びを通じて、どのような自分になりたいか」というテーマで、自分の考えを述べること)  
\*A4原稿用紙800字程度(PCでの作成も可。)

## 6 選考について

- ①第1次選考・・・書類による選考 \*選考結果については、6月17日(月)付け郵便で、本人に通知します。
- ②第2次選考・・・面接による選考 \*第2次選考の面接は、6月23日(日)午後。時間については1次選考の結果とともに、通知します。尚、無断で欠席された場合は、辞退とみなします。

## 7 その他

団員決定後であっても、事情によりその決定を取り消すことがあります。  
\*疑問・相談等ございましたら、電話やメール等でお気軽に御質問・御相談ください。

# 活動の詳細について

(日程、内容等は、予定です。都合により変更することがあります。)

## 1 研修について

人権意識と国際感覚を高め、団員・スタッフ間の良好な関係づくりや、国際交流や異文化理解の意義について学ぶための研修を実施します。

原則、すべての研修に出席することが参加の条件です。学校行事等で都合がつかない日がある場合は、必ず事前に御相談ください。尚、事前に相談なく欠席された場合、団員決定の取り消し事由となることがあります。あらかじめ御了承ください。

## 2 年間研修スケジュール \*2024年3月時点での予定です。都合により変更になる場合があります。

7/4(木)	結団式、IYS説明、他	9/1(日)	外国にルーツのある子どもたちとの交流会企画
7/7(日)	同和問題について、他	9/8(日)	外国にルーツのある子どもたちとの交流会企画
7/19(金)	世界の人権の流れ	9/15(日)	外国にルーツのある子どもたちとの交流会実施
7/26(金)	IYS元団員による国際関係団体(JICA等)の活動経験を通して	9/27(金)	区民まつり展示用パネル作成
8/4(日)	コリアタウンフィールドワーク	10/4(金)	区民まつり展示用パネル作成
8/9(金)	YMCA日本語学校生との交流会準備	10/20(日)	堺まつり参加
8/16(金)	YMCA日本語学校生との交流会準備	10/27(日)	堺市区民まつりIYS展示ブースへの参加
8/25(日)	YMCA日本語学校生との交流会	11/10(日)	(どちらか一方)
		11/14(木)	活動報告集作成

\*金曜日の活動については、19:00から20:45まで堺市役所で行う予定です。 \*上記の他に、社会貢献活動としての出前講座事業への参加があります。  
\*その他、上記日程における活動時間や開催会場等、詳細について知りたい方は、下記問い合わせ先まで連絡ください。

## 3 費用について

- (1)年会費 3,000円  
団員には、事業目的及び対象事業を理解し、参加を希望していることを前提に年会費を納めていただき、本年度の会員とさせていただきます。尚、事業が中止になった場合、年会費は返金いたします。
- (2)交通費、食費等  
研修会場までの交通費はご負担ください。また、1日研修の日の食事等はご自身でご準備ください。
- (3)その他、研修費用等についてはIYSで負担いたします。

## ★問い合わせ先

インターユース堺事務局 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 堺市ダイバーシティ推進部人権推進課内  
電話:072-221-9280 Mail:iys\_sakai@yahoo.co.jp (担当:山本、市村、横田)

# 2024年度 インターユース堺 事業 参加申込書

記入日 (      月      日 )

ふりがな			生年月日
名前			年      月      日生 (満      才)
現住所	〒 自宅TEL (      )      FAX (      )		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅電話 <input type="checkbox"/> 自宅FAX <input type="checkbox"/> 携帯電話 (      ) <input type="checkbox"/> 携帯メール <input type="checkbox"/> PCメール <input type="checkbox"/> その他 (      )		
学校・勤務先 (所在地)	〒 TEL (      )		
【ボランティア活動・学校での部活動等、団体活動経験・経歴など】			
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>			
【自分の強みを、その強みがいかにされたエピソードに触れて説明してください。】			
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>			
【趣味・特技など】			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>写真貼付場所 (正面脱帽) 2024年1月1日 以降に撮影したもの ※デジタル写真可</p> <p>サイズ 4.0cm×3.0cm</p> </div>

記入いただいた個人情報は厳重に管理し、IYS事業以外には使用いたしません。  
右の欄は事務局で使用しますので、なにも記入しないでください。

分類		No.	
----	--	-----	--



# IYS で学んだ先輩団員の声

私は IYS での 1 年間の学びが、その後の自分の進路を決めるきっかけとなりました。参加当時大学 3 年生で、教員をめざしていた私は、どんな教員になりたいのか、そもそも本当に教員になりたいのかなどと迷っていた時期でもありました。そんな時、普段の生活では経験できない、この IYS での人権活動での学びや、個性豊かな団員それぞれの考えに触れ、お互いを認め合う大切さを学ぶ機会を得ることができました。そして私は 1 年後、教員の道を通して、誰かをサポートしたい、誰かの人生にとってキーパーソンとなれるような人になりたいと、これからの目標を決めることができました。



私の今後の進路は教員職といっても、社会的にはマイノリティと言われている不登校の生徒たちに寄り添う仕事です。IYS に参加する前の自分にとっては、全く考えていなかった進路です。人権問題を考える機会がなければ、そのような道に進むこともなかったと思います。

もし入団を迷われている方がいたら、自分を変えるきっかけだと思い、思い切って入団してほしいと思います。ここでの多くの人との出会いが、自分を変えるきっかけになると思います。

(13 期団員 F.M さん 大学 3 年生)



男女平等や人権問題など、日常で聞く機会が増え、理解が広まってきているように思うが、まだ沢山の課題があるように感じていました。親や友だちとの会話でも、「女(男)のくせに…」「(国名)の人は危ない」など決めつけや偏見のある発言を聞きます。その都度、私の心はモヤッとしました。同時に、私も無意識に何かに対して決めつけや偏見を持っているのだろうなと思いました。『イメージ』で語ることで決めつけや偏見に繋がっているのかもしれない。

だから『実際』を知りたいと考え、IYS に参加しました。

前期研修や後期研修では、人権課題の当事者から話を聞いたり、人権、男女共同、医療など様々な分野で活躍されている講師さんに来ていただき学びました。今まで何となく知っている気だった言葉や意味は、誤解や間違いもたくさんあることに気づきました。学び直せたことで、勝手な思い込みに気づけたことは「実際」を知るための大きな一歩となりました。

台湾のスタディツアーで得たものは、「ちがい」にばかり目を向けていたことに気づくことができました。私は小学校に勤務しており、未来を担う子どもたちを教育する立場にあります。そんな私が、ちがいはあって当然だけど「おなじ」ことだってたくさんあるということを経験したのは、とても意味のある経験でした。今後もたくさんの人と関わりながら、自分自身の思い込みや偏った考えに気づき、視野を広げていきたいです。(14 期団員 O.M さん 社会人)



私は IYS の活動で自分の学びたいこと、目指すべきところを見つけました。様々な人と関わる中で新しい気づきがあり、今の自分の価値観を形成する上で大きな影響がありました。IYS の活動はかけがえのない経験になりました。(13 期団員 O.S さん 高校 2 年生)

**あなたも、IYS の活動に参加して、自分の今後に大きな影響を与える体験をしてみませんか？**

**いっしょに「人権意識」を高めて、それぞれの世界に羽ばたきましょう！**

**※作者プロフィールは参加当時です**

# IYS で学んだこと ～先輩の声～



私は、大学1年の時にIYSの団員となった。IYSでの活動に参加したかった目的は今でもはっきり覚えている。将来、国際協力の道に進む素質があるの知るため、またその道に進む覚悟を持つためである。

IYS団員として活動を終えた後、大学を卒業、国際関係学を学ぶことができる大学院に進学し、青年海外協力隊に参加した。帰国し、4月からは国際協力の一端を担う仕事に就く。



改めて振り返ってみても、IYS団員として1年間活動したこと、スタディーツアーでマーシャル諸島へ行ったことが、私の原点になっている。マーシャル諸島でマーシャルの人々と会話できたこと、現地の暮らしを体感できたこと、国際協力の現場で活動している人に出会えたことは、非常に貴重な経験だった。もしIYSの団員になっていなければ、私の中での、国際協力に関わりたいという漠然とした思いは明確な意思に変化することはなく、まったく別の道に進んでいたかもしれない。

IYS団員として活動できる範囲や期間はそんなに多くはない。週1回の講座や10日間の海外研修、それのみである。しかし、凝縮された短い期間に、異なるバックグラウンドを持つ団員や、様々な分野で活躍されている講師の方、IYS事務局の職員、また市民の方から学ぶことは当時大学1年だった私にとっては非常に大きかった。

インターネットの普及により、私が子どもだった頃よりも様々な情報を簡単に手に入れられるようになった。しかし、どれだけインターネットが発達しても興味があること、疑問に思ったことを実際に自分自身が経験するという体験は何ものにも代えられない価値があると思う。IYSの団員であれば、なかなか学ぶ機会のない人権について考える機会や、普通の旅行では決して知り得ない情報や味わえない体験を得られる。是非、IYSの制度を利用して多くの方々に貴重な経験をしてほしい。(2010年マーシャル諸島スタディーツアー団員 H.Aさん 大学1年)

私はインターユース堺に入団し、たくさんの人と出会い、いろんな経験をし、自分自身が成長できた1年間でした。

毎週の研修では新たに学ぶこと、改めて考え直すことが多々ありました。その中でも堺市の同和問題、アイヌ民族、LGBTなど、当事者の方からのお話は自分の中でとても心に刺さるものがありました。今まで自分が無意識に使っていた「当たり前」、「ふつう」という言葉の重みを考える機会になりました。

また、夏期の台湾研修では原住民族の方と関わり、個人のテーマを調査しに行きました。お互い言葉が通じなくても、食事や遊びを共にし、笑顔になれたことは私にとって貴重な経験となりました。原住民の方が、自分たちの伝統や文化を大切にしていることを強く感じました。

私はこれから小学校教員として勤めます。IYSで学んだことを自分の中で留めておくのではなく、今度は自分が発信者となってたくさん子どもたちに伝えていきたいです。(2017年台湾スタディーツアー団員 N.Mさん 大学3年)



マーシャル諸島へ行ってから十年が経ったが、ふとしたときに思い出す。仕事や旅行等で自分と感覚の違う人と出会ったときに特に思い出す。そして、「みんなが自分と同じ感覚を持っているとは限らない。ましてやその感覚がいつも正しい等と思っはいけない。」と自分自身に言い聞かす。

これは、IYSの団員として実際に未知の土地に行き、様々な考えを持つ人と交流できたからこそ得られた感覚だと思う。(2009年マーシャル諸島スタディーツアー団員 I.Tさん 大学生)





私は堺市で教員をしています。社会人として IYS の活動をするにとっても抵抗がありましたが、今では、IYS の活動に参加して本当によかったと思っています。IYS の活動で学んだ私は、目の前にいる子どもたちの行動や事実だけで指導したりするのではなく、「なぜこんなことをしたのだろうか」「何か背景があるのでは」「言葉の裏に隠されているものは？」等、以前よりもさらに、深く様々な角度から子どもたちのことを見たり考えたりするようになりました。

さまざまな子がいるクラスの中には、色んな事情を抱えた子どもたちがいます。その子たちに寄り添う担任をめざして指導してきた私ですが、IYS の活動をきっかけに考え方や物の見方が変わったことで、以前よりももっと子どもたちとの関係の築き方が良くなったのではと思っています。

そのように考える理由として1つめは、座学での講師の方から教えていただいた知識です。人権問題は、日本にも世界にもたくさんありますが、「自分では知っているようでも全然わかっていなかった」ことがたくさんあったことに気がつきました。LGBT や同和問題など、言葉で聞いたりなんとなく認識していたりする事でも、自分が知っていることは上辺だけで、深い根があり、自分でもそんなつもりはないのに偏見をもっていたことを知りました。また、当事者の思いなどを聞いたことで、一方的な思い込みや考えをするのではなく、様々な物の見方や考え方がよりできるようになったと感じます。

2つめは、スタディーツアーでの経験です。私は台湾にスタディーツアーに行きました。長い期間現地に赴き、その地の人たちと関わり、現地の空気を吸い、現地で生活することで、知識だけではなく、実態をともなって感じる事がたくさんありました。特に、言葉が通じなくても、遊びや食事で交流することで、現地の人たちの人となりやあたたかさを感じることができました。そしてそれは、私の意識を変えました。以前は、「台湾統治の問題は日本が昔行った問題」という意識であったのが、「今でもその統治問題を感じられる部分に触れたことが、他人ごとではない問題」として感じるようになりました。(2017年台湾スタディーツアー団員 N.Tさん 社会人)

私は大学生のときに、IYS 1期団員として、インド・スリランカを訪問しました。旅行では、なかなか行くことのできない地域を訪れ、現地の方と直接話をしたり、暮らしに触れることができ、本当に貴重な経験ができました。元々、大学で国際協力を学んでいて、いつか途上国を訪れたいと思っていた私は、堺市の広報で団員募集を知り応募しました。

IYS で印象に残っていることは、帰国後も何か支援を継続したいと考え、募金活動を試みたことです。自らが立案者となって、企画を現実のものにしていくことの難しさを知り、このことは学生だった私に、新しい視点を持たせてくれました。当時は、教育実習と就職活動の真っ只中で、将来のこととIYSの活動の両立に悩むこともありました。それでも、一緒に活動する仲間や事務局の方々のサポートのおかげで、自分のやりたいことを存分にやらせてもらえたと思います。

卒業後は、一般企業に就職し、その後中学校の教員として働いています。IYSの活動では、パワーポイントを使ってのプレゼンも多くこなします。報告書の作成にも力を入れました。大きな会場で報告する機会もあり、プレゼン能力が培われました。そして、現地のNGO団体を含め様々な人と知り合う機会があり、人脈が広がったことも、嬉しかったことの一つです。社会人になると人脈が役に立つこともたくさんあります。また、同期とは今でも連絡を取り合える仲間になりました。高校生から社会人まで、幅広い年齢層の人たちと関わり合えることも、魅力の一つだと思います。私の同期の団員たちも、今、様々な仕事で活躍しています。社会に出ると、これまでどんな経験や体験をしてきたかということが、自分の武器になっていると感じることがあります。体験から得たことや生まれた考えが、どんな仕事においても役に立っていると感じます。ぜひ、IYSの活動を通じて、自分の視野を広げてみてください。

(2005年インド・スリランカスタディーツアー団員 K.Rさん 大学生)

※ 学年等は、参加当時のものです。

# 第15期よりメッセージ

## 15期団に聞いてみた！IYSのいいところ



IYSに参加して素晴らしい仲間たちと巡り合い、色々な研修と台湾ツアーを通じて、私自身すごくポジティブになることができました！皆さんに感謝！

自分を大切にできるようになりました。  
IYSは最高の場所です！



個性豊かなメンバー！



いつも元気なIYS  
は楽しい！



様々な人と出会える！



いい人ばかりIYS！

団員の皆さん大好き  
です！1年間ありがとうございました！



常に新たな発見ができる！

多くの学びを得られる！



居心地最高のIYS。1年間みんなといれて僕は幸せでした！スタディーツアーはほんと楽しかった！みんなありがとう！そしてこれからもずっとよろしく！



未知の世界を知ることができる！